

第2回 ふるこはんフェス DAY&NIGHT

主催：高岡市歴史文化推進協議会

共催：高岡市/高岡市教育委員会/高岡商工会議所/近世高岡の文化遺産を愛する会

協力：浄土真宗本願寺派高岡教区 寺族青年会 鸞翔会

企画運営：ふるこはんフェス運営委員会/（有）エビファニーワークス

Food：イチカキッチン/宇宙玉/富山胡椒餅製造所/クレープレイヴル/ケーキハウスミユク/

コイノボリ食堂/ジャマイカ料理ジェリーズ/林傳商店/HoLo家/munch's sweets/

からあげ専門店 鶏よし/鶏たつ/小さなキッチン&雑貨Lupe/CAFE HAHAHA

Craft：くりこども/自立サポートJam/ハズカシガリヤ/蜂の巣あうん/metio/FLEUR/

YACCHI/yuzukinari

Workshop：西藤博之+Art For ALL（富山大学芸術文化学部）/大越仏壇/Green Owls/

こりほぐし処にこここ屋/murojiuroji/Rie wild vine wreath

Opening：高岡市立伏木中学校吹奏楽部&選抜合唱団ふっしーず

Music：河上朋弘/雪山俊隆/onpun/Predawn

お問い合わせ 高岡市歴史文化推進協議会事務局

（高岡市教育委員会生涯学習・文化財課内）TEL:0766-20-1453

 平成31年度文化庁文化芸術振興費補助金(地域文化財総合活用推進事業)



ふるこはんフェスがつなぐもの

—地域とともにある勝興寺—

2019開催レポート

令和元年9月、かつて万葉歌人・大伴家持が国守として赴任した越中国府の国庁があったといわれる勝興寺の境内地で、「第2回ふるこはんフェス」が賑やかに開催されました。20年余りにわたる「平成の大修理」の完工が目前となり、その広大な境内の全貌もついに明らかとなりました。

平成30年3月に開催された「勝興寺とまちづくり座談会」をきっかけに、地元伏木をはじめ、近隣地域みなさんと様々な意見交換をしながら実現した「ふるこはんフェス」。回を重ねることで、さらに多くの方と出逢い、つながり、笑顔あふれる穏やかな時間を共有することができました。

この冊子では、「第1回ふるこはんフェス」(平成30年9月)のあと、どのように取り組みを継続してきたかに加え、盛況となった第2回の開催当日の様子をレポートします。

※「勝興寺とまちづくり座談会」「第1回ふるこはんフェス」については、過去の開催レポートをご覧ください。



伏木・雲龍山勝興寺

「ふるこはんフェス」の会場となった雲龍山勝興寺は、浄土真宗本願寺派の寺院。本願寺八世蓮如上人が、文明3年(1471年)越中の布教の拠点として開き、蓮如の子孫が代々住職を務めました。真宗王国・越中における代表的寺院であると同時に、本願寺を支える連枝寺院の一つとして重要な働きをなし、地元ではその所在地である古国府(ふるこくふ)の名から、親しみを込めて「ふるこはん」と呼ばれてきました。

本堂を始めとする12棟の建物が、国の重要文化財に指定されており、江戸時代中期から後期にかけて建てられた伽藍内の建造物は、平成10年から20年余りに渡る大規模な保存修理が行われ、令和3年の春、ついに全体公開を予定しています。

雲龍山 勝興寺

〒933-0112 高岡市伏木古国府17番1号

ふるこはんフェス開催にむけた

準備委員会

1



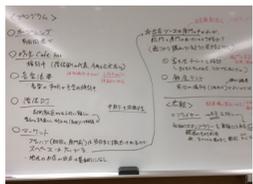
4/16 (火)

初回の運営委員会では、「第1回ふるこはんフェス」の成果と反省点を、アンケート結果等をふまえて共有。次回開催へ向けた改善点と新たなアイデア、今後のスケジュールを話し合いました。

2

3

4



5/21 (火)、6/23 (日)、7/17 (水)

「第2回ふるこはんフェス」では、アーティストや富山大学芸術文化学部の学生のみなさんも準備段階から参加。プログラムの具体的な内容やクリアすべき課題を洗い出し、それぞれが担当することを明確にして進めていきました。

5

6



8/19 (月)、9/16 (月)

フード&クラフトマーケットの出店者やコンサート出演者も決定し、開催当日に向けての広報や備品、タイムスケジュール、会場レイアウトなどについて、最後の調整をしました。

タルチョづくり

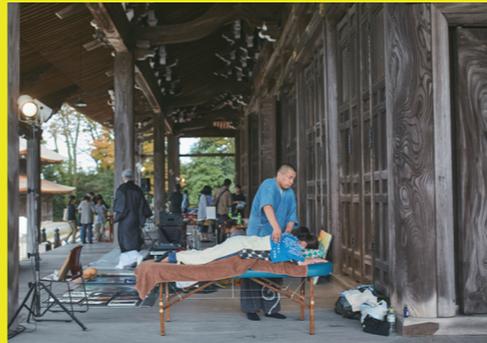
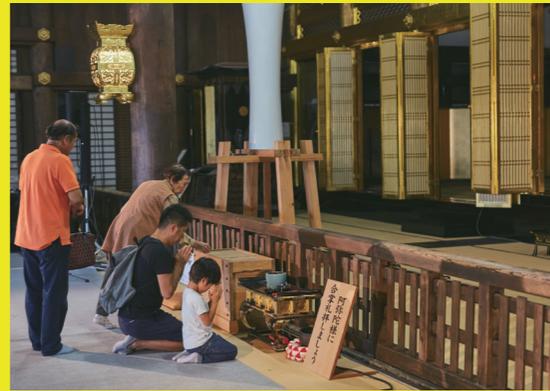


修理のために足場と幕に覆われていた勝興寺総門を装飾しようと、チベットの寺院等で用いられる5色の祈禱旗「タルチョ」を大学生が手作り。布地は高岡教区の僧侶が提供し、工事関係者の協力により掲げられました。



2019.9.29 Sun. 11:00-20:00

ここからは、大勢の人で賑わった「第2回ふるこはんフェス」開催当日の様子や、タイムスケジュール、プログラムの内容をご紹介します。



[@境内地ほか]
ワークショップ
FOOD & CRAFT MARKET

11:00

[@本堂前] -11:30
• オープニング

11:30

[@外縁] -16:00
• 坊主Café

12:00

[@境内地ほか] -16:30
• 見学ツアー①
• 僧侶DJタイム

14:00

[@境内地ほか]
• 見学ツアー②

16:00

[@境内地ほか]
• 見学ツアー③

17:00

[@本堂] -18:00
• 音楽法要

18:00 - 20:00

[@外縁] 18:00 - 20:00
• 坊主Bar

[@本堂] 18:30 - 20:00
• コンサート

[@境内地ほか] 19:00 - 20:00
• 見学ツアー④

タイム
スケジュール

坊主Café & Bar「LOTUS」

Café 11:30 -

Bar 18:00 -

僧侶とおしゃべりや、雅楽の演奏を気軽に楽しめるカフェ。
今回は、お坊さんによる「ミニ法話」も開催。訪れた方からは、「雰囲気よかった」「短い法話なので聞きやすかった」という感想をいただきました。



僧侶DJ

12:00

お坊さんDJがふるこはんフェスを
楽しむための音楽を選曲。お寺を知
る僧侶ならではのセレクトで、お寺を
の空間がさらに心地よいものに。

出演

河上朋弘(琳空山 慶集寺住職)
雪山俊隆(白雪山 善巧寺住職)



勝興寺見学ツアー

勝興寺文化財保存・活用事業団、観光ボランティア
ガイド「比奈の会」による見学ツアー。修復により
甦った歴史ある勝興寺を堪能しました。

12:00

14:00

16:00

19:00



音楽法要

17:00

富山県内の浄土真宗本願寺派若手僧侶総勢30名による声明(しょうみょう)と雅楽+シンセサイザー演奏による勤行(おつとめ)。今回もお坊さんの手作りの華葩(けは)が多くの来場者の方によって散華されました。法要勤修後には、雅楽器について僧侶の皆さんから説明があり、仏教とその文化についてさらに深く知る機会となりました。



onpun

富山のトラックメイカー Zaion と Denpun によるスペシャルユニット。2012年、Emi Meyer を迎えたシングル曲 "Mermaid Lagoon", ミニアルバム "Daydreamin' EP" リリース。サンプリングビーツと生楽器が融合した美しく心地良いダウンテンポ〜ブレイクビーツが高い評価を得る。

Predawn

Predawn (プリドーン=夜明け前) を名乗る、女性ソロシンガーソングライター。かわいらしくも凛としたたずまいと、天性の声に魅了されるリスナーが続出している。少々ひねくれつつもドリーミングかつヒーリング的な聴き心地が融合した音楽は、国内において類を見ない。



地元・富山のアーティスト「Onpun」、女性ソロシンガーソングライター「Predawn」のコンサート。多くの方が、最初から最後までその素晴らしい演奏と澄んだ歌声に聴き入り、夜のお寺での特別な時間を過ごしました。

コンサート

18:30-

出演

onpun
Predawn

参加者の方の **声**

ふるこはんフェス当日実施したアンケートでは、ほとんどの方が、「とても良かった」「良かった」と回答。皆さんのお声をご紹介します。

居心地がよかった。

勝興寺の見学ツアーもボランティアの方の志がすばらしかった。解説がわかり易く丁寧だった。

音楽法要、感動しました。

僧侶や寺といった普段興味をもたなかったものを体験できてよかった。

勝興寺の姿がこれまでと違ってみえた。

新しいものと古いものが入り混じっている所がすごく良かった。

飲食の売り切れが多くて残念だった。

伏木の街全体でイベントを盛り上げようとする熱い想いが伝わってきました。

市民とお寺の距離を縮める良い機会。

子どもたちが楽しそうに走り回るのがうれしかった。

若い人もおとしよりも、いい雰囲気で気持ちよかった。

僧侶や寺といった普段興味をもたなかったものを体験できてよかった。

本堂のライブ、音が降ってくるみたいだった。

新しいものと古いものが入り混じっている所がすごく良かった。

お坊さんに気軽に話せてとても良かった。

飲食の売り切れが多くて残念だった。

伏木の街全体でイベントを盛り上げようとする熱い想いが伝わってきました。

ライブがよかった。入場にお金をとってもしっかりいらい。

お寺でのんびりしながら、お坊さんと話が出来て心地良い一日でした。

日頃のストレスが去った気がした。

僧侶や寺といった普段興味をもたなかったものを体験できてよかった。

こんなに立派なお寺があることを知らなかった。

新しいものと古いものが入り混じっている所がすごく良かった。

堅苦しくなく、ゆっくりと友人と楽しめました。

飲食の売り切れが多くて残念だった。

伏木の街全体でイベントを盛り上げようとする熱い想いが伝わってきました。

「ふるこはんフェス」は、国指定重要文化財である勝興寺を、地域の財(たから)としてどう活かしていくかを考えるところから始まりました。第2回めとなる今回、新たに加わった企画に、伏木のまちを巡る「スタンプラリー」や修理中の総門を彩った「タルチョ」、法要で使われる蓮の花びらを形どった法具・華葩(けは)をアレンジした「アート華葩作り」などがあります。いずれも準備段階から関わっていただいたアーティストや学生たちと、地域のみなさんや僧侶の方々が出逢い、協力することで実現しました。この「ふるこはんフェス」がつなぐものは、勝興寺を地域のために後世に残すことだけではなく、それを通して広がる「人の輪」であるということも、改めて認識しました。

勝興寺がある伏木地区は、戦国時代からその寺内町として栄え、また、北前船で財をなした多くの廻船問屋で繁栄。日本初の私立測候所ができるなど、明治以降の近代化にも大きな影響を及ぼしました。勝興寺が文化財として大切に受け継がれ、そこに多様な人々が集う機会をつくることで、仏教のみ教えや長い歴史の中で培われた様々な文化に触れることができます。そうして私たちはまた、新しい文化をつくり、こころ豊かに暮らしていくことができるのではないのでしょうか。